令和7年度 第3回 小金井市緑地保全対策審議会

日 時:令和7年10月30日(木)

午後2時00分~午後4時00分

場 所:小金井市役所第二庁舎8階 801会議室

次 第

- 1 開会
- 2 議事 小金井市みどりの基本計画中間見直しについて(資料1~2)
- 3 その他
- 4 閉会

【配布資料】

資料1 小金井市みどりの基本計画中間見直し報告書(案)

資料2 小金井市みどりの基本計画実施計画中間見直し(案)

小金井市みどりの基本計画 中間見直し報告書(案)

目 次

1. 小金井市みどりの基本計画中間見直しの概要	1
1-1 中間見直しの目的	1
1-2 中間見直しの方法	1
1-3 中間見直しの対象	1
2. 小金井市のみどりに関する分析・評価	2
2-1 小金井市の環境・みどりに関する市民アンケート調査	2
2-2 みどり率調査	5
2-3 小金井市みどりの基本計画の取組状況の検証	8
3. みどりを取り巻く国・東京都の緑化施策の動向等、政策動向の整理	14
4. 中間見直しの内容	17
4-1 小金井市みどりの基本計画	17
4-2 小金井市みどりの基本計画の実施計画	20

1. 小金井市みどりの基本計画中間見直しの概要

1-1 中間見直しの目的

小金井市みどりの基本計画(以下「基本計画」という。)は、令和3年4月1日から令和13年3月31日までを計画期間とする計画であり、概ね5年間を区切りに、基本計画の具体的な事業の取組状況の検証や課題の整理をするとともに、社会情勢や関連する各種制度の変更など基本計画を取り巻く環境の変化を踏まえた中間見直しを行うことにより、基本計画の推進を目的とします。

1-2 中間見直しの方法

中間見直しにあたり、以下の方法により小金井市のみどりに関する分析・評価及び社会動向を整理し、小金井市緑地保全対策審議会において、目標年次の令和12 (2030) 年度に向けて、今後の方向性を諮問し、基本計画の中間見直しを行いました。

(1) 小金井市のみどりに関する分析・評価

- ア 小金井市の環境・みどりに関する市民アンケート調査
- イ みどり率調査
- ウ 小金井市みどりの基本計画の取組状況の検証

(2) みどりを取り巻く社会動向

国・東京都の緑化施策の動向等、政策動向の整理

1-3 中間見直しの対象

(1) 小金井市みどりの基本計画

新たな市のガイドライン策定に伴う基本計画の「都市公園等の整備及び管理の方針」を見直すことにより、公園等の更なる適正管理を実施します。

(2) 小金井市みどりの基本計画実施計画

基本計画の主な取組に対する具体的な取組事業を、みどりに関する分析・評価等による中間見 直しを踏まえ見直すことにより、基本計画を推進します。

2. 小金井市のみどりに関する分析・評価

2-1 小金井市の環境・みどりに関する市民アンケート調査

(1)調査対象

市内在住の18歳以上で無作為に抽出した3,000人

(外国籍の方90名には、日本語のほか、英語、中国語、韓国語の調査票を同封し送付)

(2) 方法及び期間

方 法	期間
・調査票を郵送、返信用封筒にて回収(紙面)	令和7年6月25日
・調査票に掲載の二次元コード、URL よりインターネットで回答(WEB)	~7月16日

(3)回答概要

対象	配布数	回答数(n)	回答率
18歳以上の市民	3,000	1,078	35.9 %

- ※ 上記のうち、外国籍の方の回答数は3件(英語1件、中国語2件)
- ※ WEB と紙面の重複回答が1件あったため、有効な回答数から除外しました。
- ※ 回答率は、小数点第2位を四捨五入

【参考】

表 年代別回答率

年代 発i		発送数					
年17	発し	左 级	紙面		WEB	合計	回答率
10代	67	(4)	6	(1)	10	16	23. 9%
20代	473	(54)	30	(0)	42	72	15. 2%
30代	484	(24)	50	(0)	86	136	28. 1%
40代	529	(6)	79	(2)	96	175	33. 1%
50代	520	(2)	101	(0)	91	192	36. 9%
60代	396	(0)	147	(0)	65	212	53. 5%
70代以上	531	(0)	241	(0)	26	267	50. 3%
無回答	_		8	(0)	0	8	
合計	3,000	(90)	662	(3)	416	1,078	35. 9%

- ※ 発送数及び紙面の回答数の括弧書きは外国籍の方
- ※ 令和元年度回答状况
 - 1,028件(紙面 941件、WEB 87件)

上記のうち外国籍の方(回答数 11件 回答率 34.3%)

(4)調査結果

全体調査結果より、「8 小金井市のみどりについて」を抜粋した内容を以下に示します。

8 小金井市のみどりについて

本市のみどりの施策等について、感想をお聞かせください。該当する番号1つに〇をつけてください。

みどりの施策等について、「満足」、「やや満足」の合計値は「みどりの豊かさ」(72.3%)、「公園の居心地の良さ」(69.1%)で高くなっています。

「ボランティア活動の参加のしやすさ」、「イベントの参加のしやすさ」の「満足」、「やや満足」 の合計値は2割以下でした。

「みどりの質」の「満足」、「やや満足」の合計値は47.5%でした。

小金井市のみどり (n = 1,078)

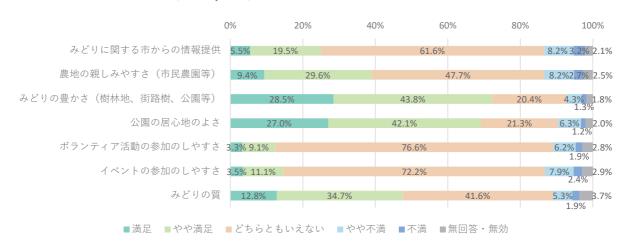


図 市のみどりの施策の満足度

表 みどりの質の満足度

項	目	令	和元年度	令和	7年度		12年	度
みどりの	質の満足度		67.8%	47.	5%	8	0.0%	
09	%	20%	40%	60	0%	80%		100%
令和7年度	12.8%		34.7%		41.6%		5.3%	3.7%
							1.9	1%
令和元年度	25.9%		4	1.9%		19.0%	8.5%	2.7%
							2.	0%
■満足 ■やや満足 ■どちらともいえない ■やや不満 ■不満 ■無回答・無効								

図 令和7年度、令和元年度の「みどりの質」回答状況

【過年度との比較】

令和7年度の調査では、前回のアンケートからの変更点として、新たに「小金井市のみどり」の参考情報として、小金井市みどりの基本計画における「みどりの将来像」や基本計画における「質の高いみどり」の定義をアンケート調査票に掲載し、「質の高いみどり」についてアンケート回答者に意識してもらうように説明を加えました。(下図参照)

その結果として、アンケート回答者が深く考え見直す機会となったことで、前回回答より直感的な回答が減少し、「どちらとも言えない」の回答が増加したと考えられます。「どちらとも言えない」の回答は、令和元年度は19.0%でしたが、令和7年度の調査結果では41.6%となりました。

「みどりの質」の満足度は、「満足」、「やや満足」の合計値で、令和元年度の67.8%と比較すると、令和7年度は47.5%となり、20.3ポイント低下しました。

また、「やや不満」、「不満」の回答の合計値は、令和元年度の10.5%に対して、令和7年度は7.2%と低い結果でした。

小金井市のみどりの将来像「みんなで育み、つなげるみどりの小金井」

小金井市にふさわしいみどりは、安全で快適な場所として、保全、活用され、多世代が触れ合い、地域で暮らす楽しみを見つけることができる空間です。

【質の高いみどり】

- ① 地域特性に応じた多様なみどり
- ② 多様な機能を有するみどり
- ③ 生活に季節感や潤いをもたらすみどり
- ④ 生態系やまちの景観への配慮が保たれているみどり







(小金井市の環境・みどりに関する市民アンケート調査に掲載した参考情報より抜粋)

【課題】

- 参加しやすいボランティア活動の検討や、イベントへの参加を促進することが必要
- ・ みどりの質の満足度を高めるため、みどりが多様な機能を有することの周知が必要
- ・ みどりの質の満足度を高めるため、生態系やまちの景観への配慮とは何か知るきっかけが必要

2-2 みどり率調査

(1) みどり率による中間評価

令和元年度の小金井市みどりの実態調査において、令和元(2019)年度の緑被率 *1 は30.2%となっており、この数値に基づき、令和12(2030)年度の緑被率の目標値は28.0%と設定しています(10年後に \triangle 2.2%)。

(2)調査方法

中間評価に当たっては、東京都みどり率※2調査結果を活用しました。

令和元年度実施の小金井市みどりの実態調査と東京都みどり率調査は、調査手法に違いがありますが、減少する量については同様の傾向である(10年後に $\triangle 2.2%$)と仮定し、東京都みどり率調査による令和12(2030)年度のみどり率の目標値を設定すると、32.7%(10年後に $\triangle 2.2%$)となります。さらにこれを中間評価に使用できるように各年に按分し算出しました。

傾向分析により算出したみどり率を中間評価のため各年に按分した結果が下表となります。 令和5年度の東京都みどり率調査の結果を用いて、小金井市のみどり率の集計を行い、34. 1%を基準とし、中間評価としました。

	小金井市み	どりの実	態調査に基づく数値		東京都みどり率調査に 基づく数値		備考
年度	緑被面積 (ha)	緑被率	みどり率で考慮す るみどりの面積 (ha)	みどり 率	みどり率で考慮する みどりの面積 (ha)	みどり率	
平成30	_	_		-	396.13 (実績値)	35.1%	東京都みどり率調査実施
令和元	340.79 (実績値)	30.2%	344.08 (実績値)	30.4%	393.93(目標値)	34.9%	小金井市みどりの実態調査実施
令和2	338.59 (目標値)	30.0%	341.88 (目標値)	30.3%	391.73 (目標値)	34.7%	小金井市みどりの基本計画策定
令和3	336.39 (目標値)	29.8%	339.68 (目標値)	30.1%	389.53 (目標値)	34.5%	小金井市みどりの基本計画開始
令和4	334.19 (目標値)	29.6%	337.48 (目標値)	29.9%	387.33 (目標値)	34.3%	
令和5	331.99 (目標値)	29.4%	335.28 (目標値)	29.7%	385.13(目標値)	34.1%	東京都みどり率調査実施(予定)
令和6	329.79 (目標値)	29.2%	333.08 (目標値)	29.5%	382.93 (目標値)	33.9%	
令和7	327.59 (目標値)	29.0%	330.88 (目標値)	29.3%	380.73 (目標値)	33.7%	
令和8	325.39 (目標値)	28.8%	328.68 (目標値)	29.1%	378.53 (目標値)	33.5%	<u> </u>
令和9	323.19 (目標値)	28.6%	326.48 (目標値)	28.9%	376.33(目標値)	33.3%	
令和10	320.99 (目標値)	28.4%	324.28(目標値)	28.7%	374.13(目標値)	33.1%	
令和11	318.79 (目標値)	28.2%	322.08 (目標値)	28.5%	371.93(目標値)	32.9%	
令和12	316.59 (目標値)	28.0%	319.88 (目標値)	28.3%	369.73 (目標値)	32.7%	小金井市みどりの基本計画満了
	2019-2030 年みど	り減少量	△24.2ha	△2.2%	△24.2ha	△2.2%	

表 小金井市の緑被率・みどり率

注)実績値:調査に基づき示された値 目標値:令和12(2030)年に達成すべき目標とそれを各年に按分した値

※1緑被率 …緑被面積が市域に占める割合のこと。

※2みどり率…緑被面積に「公園・緑地内に含まれる裸地(グラウンドなど)」及び「水面」の 面積を加えた値(ここでは、「みどり率で考慮するみどりの面積」という。)か ら市域面積を割った値のこと。

(3) 令和 5 年度みどり率調査に基づく小金井市のみどり率による評価

令和5年度の東京都みどり率調査結果を使用し、小金井市のみどり率を算出しました。令和5年度における小金井市のみどりの面積は379.52ha、みどり率は33.6%となり、中間評価における令和5年度の目標34.1%を0.5ポイント下回りました。

表 平成30年度、令和5年度のみどり率実績値及び目標値の比較

年 度	平成30年度(実績値)	令和5年度(実績値)	令和5年度(目標値)
みどりの面積	396. 13 ha	379.52 ha	385.13 ha
みどり率	35.1%	33.6%	34.1%

分類別にみると、最も面積の大きい樹林・原野・草地が 5.4%の減少となり、12.21ha 減少しました。

農用地の減少割合が最も大きく、12.3%の減少、面積として8.34haが減少しました。 一方、公園・緑地は4.5%増加し、3.94ha増加しました。

表 分類別のみどりの面積及び増減

単位: ha

分 類	平成30年度	令和5年度	増減量	増減率
公園・緑地	88. 07	92.00	3. 94	4.5%
樹林・原野・草地	227. 69	215. 48	△12. 21	△5.4%
水面・河川・水路	12. 35	12. 35	△0.01	0.0%
農用地	68. 02	59. 68	△8. 34	△12.3%
計	396. 13	379. 52	△16. 62	△4.2%

全体 比較



(4) 緑地の現況

公表されている統計資料及び小金井市資料より、令和7年度における緑地の現況をとりまとめました。

施設緑地は228.53haとなり、平成30年度と比較すると公園・緑地等の面積が増加しています。 地域制緑地は78.98haとなり、生産緑地地区が22箇所、10.33ha減少したほか、小金井市条例 による環境緑地、公共緑地が減少しました。

表 平成30年度、令和7年度の公園・みどり等の現況

調査対象とした公園・みどり等	平成30年度		令和7年度		次小小儿中
	箇所	面積(ha)	箇所	面積(ha)	資料·出典
街区公園	7	1.13	7	1.29	
近隣公園	4	5.65	4	5.74	
風致公園	1	11.98	1	11.98	
広域公園	2	60.86	2	61.06	公園調書(R7.4.1東京
都市公園 計	14	79.62	14	80.07	都建設局)
児童遊園	85	2.96	85	3.03	より集計
子供広場	46	1.28	40	1.08	
その他の緑地	74	1.87	71	2.83	
公園・緑地等 計	219	85.73	210	87.01	
都市計画墓園	1	22.40	1	22.40	人和二年由小人共士 7
遊歩道•緑道(単位:km)	17	4.02	17	4.02	令和元年度小金井市み どりの実態調査報告書
街路樹(単位:km)	_	22.07	_	22.07	C900天:您們且刊口音
市民農園	8	0.89	10	0.72	令和6年度事務報告書
公立小中高等学校	17	26.93	17		令和4年度東京都
公共施設	28	7.06	28	7.06	土地利用現況調査
公共施設の緑地 計	_	57.28	_	57.28	
公園・緑地等及び公共施設の緑地 計	_	143.01	_	144.29	
私立小中高等学校•大学	16	74.38	16	74.38	 令和元年度小金井市み
寺社境内地	21	5.78	21	5.78	どりの実態調査報告書
グラウンド	4	4.08	4	4.08	C 700 天心则且我自自
民間施設の緑地 計	41	84.24	41	84.24	
施設緑地 合計	_	227.25	_	228.53	
特別緑地保全地区(都市緑地法)	1	1.29	1	1.29	
生産緑地地区(生産緑地法)	208	60.89	186	50.56	
風致地区(都市計画法)	1	10.54	1	10.54	小金井市資料
河川区域(河川法)	2	8.36	2	8.36	
史跡、名勝(文化財保護法)	1	2.30	1	2.30	
法によるもの計	213	83.38	191	73.05	
保全地域(東京都条例)	3	1.31	3	1.31	
環境緑地(小金井市条例)	9	4.78	7	4.62	小金井市資料
公共緑地(小金井市条例)	4	0.37	0	0	
条例によるもの計	16	6.46	10	5.93	
地域制緑地 合計	229	89.84	201	78.98	

※平成30年度は「令和元年度小金井市みどりの実態調査報告書」に掲載の値としました。 ※平成30年度GIS面測値(令和元年度小金井市みどりの実態調査報告書)から更新資料のないものは、変更なしとしています。

【課題】

- ・ 農地は減少傾向となっており、特定生産緑地地区の指定や生産緑地の貸し出しなどの農地の減少を抑制する施策の検討が必要
- ・ 民有地の小規模なみどりや身近なみどりの確保が必要

2-3 小金井市みどりの基本計画の取組状況の検証

3つある基本方針について、「新たに力を入れる取組」に対応する課題の評価をしました。

基本方針1 みどりを守る

【新たに力を入れる取組】

「民有地のみどりを守る(保全緑地制度などの活用により守る)」

【課題】

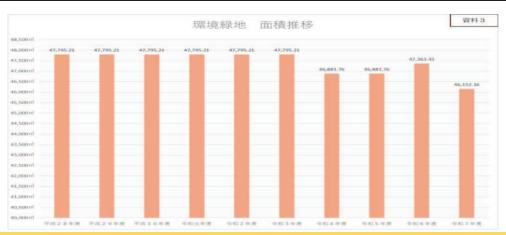
■ 住宅用地(民有地)の小規模な樹木・樹林地の減少が顕著であり、早急な対応が必要

【取組状況】

- 民有地の小規模な緑を守るため、保全緑地制度等を活用した保全に取り組みました
- 令和3年度及び令和4年度に緑地保全及び緑化推進条例施行規則を改正し、指定要件を緩和しました。また、期間限定の登録期間の制限をとりやめたことにより、年間を通して問い合わせが増え、新規の登録につながりました。
- 「小金井市緑化に関する指導等基準」を制定し、令和4年4月1日から施行しました。小金井市内で、敷地面積が200平方メートル以上の建築行為を行う場合が対象となり、「小金井市緑地保全及び緑化推進条例」第19条及び「小金井市緑化に関する指導等基準」第5条に基づき、「緑化計画書」の提出が必要となります。
- 環境緑地の指定面積及び保存生垣の延長は基準年度より減少しました。一方、保存樹木の指 定本数は増加しました。

式						
項目	目標値 (令和12年度)	基準年度 (令和元年度)	令和7年度 中間評価値			
環境緑地の指定面積	現状維持	4. 78ha	4. 62ha			
保存樹木の指定本数	現状より増加	842 本	931 本			
保存生垣の延長	現状より増加	4,358m	4, 195m			

表 小金井市みどりの基本計画の目標値の実績(1)



【課 題】

- ・ 環境緑地の指定面積や保存生垣の延長は減少しており、保全緑地制度の周知が必要
- ・ 保全緑地の質を維持するため、要件の見直しや維持管理補助の検討が必要

【新たに力を入れる取組】

「農地をまもる(活用して農地を守る)」

【課題】

■ 農地の減少が顕著である一方、活用のニーズは高いため、活用による保全が有効

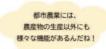
【取組状況】

- 農地の保全・活用に取り組み、農地の減少を抑制しました
- 新たな市民農園を整備しました。令和4年4月1日に「ぬくいみなみ第2市民農園」、令和6年4月1日に「みどり第3市民農園」を開設しました。
- 「親子収穫体験」や「こがねい産業まつり」などのイベントを毎年開催し、交流連携機会の 拡大を図りました。
- 市民農園の箇所数は増加しましたが、体験農園は1箇所閉園しました。
- 生産緑地地区の面積は、基準年度 58.85ha に対して、令和 6 年度は 51.27ha でした。減少を 抑制することが目標となっており、「令和元年度小金井市みどりの実態調査報告書」における 令和 6 年度の推計値 47.66ha と比較すると、減少量は小さく抑えられました。

表 小金井市みどりの基本計画の目標値の実績(2)

在 日	目標値	基準年度	令和6年度
項 目 	(令和12年度)	(令和元年度)	中間評価値
十口曲(F) 6 (***********************************	7F. (1) 1. 10 1954-1	4箇所	6 箇所
市民農園の箇所数(面積)	現状より増加	$(3,070.37m^2)$	$(5, 277. 37m^2)$
	**************************************	2箇所	1箇所
体験型市民農園の箇所数(面積)	現状より増加	$(4, 489. 46m^2)$	(300.00m^2)
//		58. 85ha	51. 27ha
生産緑地面積	減少量を抑制する		推計值:47.66ha

※年度末時点の数値のため、令和6年度の値で中間評価を実施しました。



都市農業の様々なはたらき



【課題】

・ 農地は減少傾向となっており、特定生産緑地地区の指定や生産緑地の貸し出しなどの農地 の減少を抑制する施策の検討が必要

基本方針 2 みどりをつくる

【新たに力を入れる取組】

「魅力ある公園をつくる(事業者、市民とともに公園管理を行う)」

【課題】

■ 多様な主体の参画・担い手確保による既存の公園の魅力向上が必要

【取組状況】

- 新たな公園の整備と、既存の公園の魅力の向上に取り組みました
- 公園の用地取得及び整備を進め、小長久保公園(本町三丁目)、梶野公園(梶野町五丁目)、 三楽公園(貫井南町三丁目)の整備工事を実施しました。また、整備にあたり地元自治会な どとの意見交換を行い、市民意見を反映した公園づくりに努めました。
- 利用の少ない公園の整理として、用途変更を行い、防災倉庫用地などに活用しました。
- 樹木の高木化や老木化が進むなか、計画的な維持管理を行うため、令和7年4月に「小金井 市立公園等の樹木管理ガイドライン」を策定しました。
- 三楽公園では、インクルーシブデザインに配慮した遊び場、菜園及び子どもの居場所の整備 に向け、地元自治会、敬老会及び近隣学童保育所と連携しました。
- 公園・緑地面積は、基準年度 86.86ha に対して、令和 7 年度は 87.01ha となり、基準年度より増加しました。
- 「都市計画公園の整備における市民参加実施の割合」は、令和7年度においては3つの公園 (梶野公園、三楽公園、栗山公園)で実施し、100%となっています。

表 小金井市みどりの基本計画の目標値の実績(3)

7F	目標値	基準年度	令和7年度
項目	(令和12年度)	(令和元年度)	中間評価値
公園・緑地面積	現状より増加	86. 86ha	87. 01ha
都市公園の整備における	1000/	_	1000/
市民参加実施の割合	100%	(実施公園なし)	100%







公園整備における意見交換

【課題】

- ・ インクルーシブデザインに配慮した公園整備を契機とした公園の活用が必要
- ・ 「小金井市立公園の設計及び維持管理基準」、「小金井市立公園等の樹木管理ガイドライン」 に基づく適切な管理の促進が必要

【新たに力を入れる取組】

「みどりのまちなみをつくる

(住宅のみどりを増やす・市街地や商業施設、事業所のみどりを増やす)」

【課題】

- 本市における大部分を占める住宅地のみどりの創出が必要
- 人が集う市街地や商業施設、事業所のみどりの創出が必要

【取組状況】

- 住宅地や事業所において、みどりのまちなみづくりを推進しました
- 生け垣造成奨励金の要件を緩和し、活用しやすい制度としました。また、イベント実施の際に苗木の配布を行い、保全緑地制度の案内を同封し周知を図りました。
- 緑化スペースが十分でない市街地での緑化を進めるため、「小金井市緑化に関する指導等基準」 において、屋上緑化及び壁面緑化について緑化面積に算入できることとし、規定を見直しま した。





生け垣造成奨励金のご案内

【課題】

- 環境緑地の指定面積や保存生垣の延長は減少しており、保全緑地制度の周知が必要
- ・ 保全緑地の質を維持するため、要件の見直しや助成以外の維持管理に係る助成措置の検討が必要

基本方針3 みんなで取り組む

【新たに力を入れる取組】

「みどりについて知り、親しむ(みどりに関する情報を発信・共有する)」

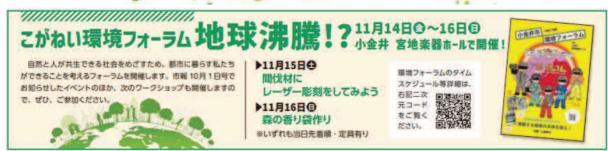
【課題】

■ 小金井市のみどりに関する実態や取組の共有が必要

【取組状況】

- みどりに関する情報発信・共有に努めました
- 市報の環境特集号において、環境美化サポーターの活動を写真やインタビュー記事を盛り込んで紹介し、魅力を広く周知しました。
- 情報共有・意見交換の場として、環境フォーラムを開催しました。令和4年度は890人、令和5年度は1,239人、令和6年度1,373人の方にご来場者いただきました。





【課題】

・ 情報提供の拡充や、イベント等での周知強化が必要

【新たに力を入れる取組】

「みどりに関する活動に取り組む(ボランティア活動に取り組む)」

【課題】

■ みどりの担い手としてボランティアの持続的な確保が必要

【取組状況】

- ボランティア活動の支援を強化し、新たな担い手の確保に取り組みました
- 既存のボランティア活動の支援として、環境美化サポーターの親睦会やワークショップ、視察を実施しました。
- 子育て世代や子どもが気軽に参加できる制度を検討し、子どもの参加が可能な花の植え替え イベントを継続して実施しました。
- 環境美化サポーターの登録者数は、基準年度 308 人に対して、令和7年度は 386 人と増加しています。

表 小金井市みどりの基本計画の目標値の実績(4)

項目	目標値	基準年度	令和6年度		
	(令和12年度)	(令和元年度)	中間評価値		
環境美化サポーター 登録者数	410 人	308 人	386 人		

※年度末時点の数値のため、令和6年度の値で中間評価を実施しました。



ボランティア養成講座座談会



子どもと参加できる花の植え替えイベント

【課題】

・ 参加しやすいボランティア活動の検討や、イベントへの参加を促進することが必要

3. みどりを取り巻く国・東京都の緑化施策の動向等、政策動向の整理

(1) 都市緑地法等の改正(都市緑地法等の一部を改正する法律(令和6年法律第40号))

国主導による戦略的な都市緑地の確保、貴重な都市緑地の積極的な保全・更新、緑と調和した 都市環境整備への民間投資の呼び込みなどについて、都市緑地法等が改正されました。これによ り緑地の保全等に関する国の基本方針が策定されました。

表	都市緑地法等の改正の	内容
11		1/2

	項目	内容と改正された法律
(1)	国主導による戦略的な	① 国の基本方針・計画の策定
	都市緑地の確保	【都市緑地法】
		② 都市計画における緑地の位置付けの向上
		【都市計画法】
(2)	貴重な都市緑地の	① 緑地の機能維持増進について位置付け
	積極的な保全・更新	【都市緑地法】
		② 緑地の買入れを代行する国指定法人制度の創設
		【都市緑地法・古都保存法・都市開発資金法】
(3)	緑と調和した都市環境	① 民間事業者等による緑地確保の取組の認定制度の創設
	整備への民間投資の	【都市緑地法・都市開発資金法】
	呼び込み	② 都市の脱炭素化に資する都市開発事業の認定制度の創設
		【都市再生特別措置法】

【上記改正の主な内容】

- 緑地の保全等に関する国の基本方針(都市における緑地の保全及び緑化の推進に関する基本 的な方針(緑の基本方針、令和6年12月20日)を策定
- 緑地の機能の維持増進を図るために行う再生・整備を法的に位置付け、市町村の実施に係る 財源を充実
- 指定法人が地方公共団体に代わって緑地の買入れや整備を行う制度を創設し、財政面・技術 面から地方公共団体を支援
- 優良緑地確保計画の認定制度(通称「TSUNAG」)を導入

「都市における緑地の保全及び緑化の推進に関する基本的な方針」(緑の基本方針)

都市緑地法等の一部を改正する法律(令和6年法律第40号)を踏まえた「都市における 緑地の保全及び緑化の推進に関する基本的な方針」(緑の基本方針)が令和6年12月20日 に策定されました。

緑の基本方針は、緑地の保全及び緑化の推進に関する基本的な事項、政府が実施すべき施 策に関する基本的な方針等を定めるものであり、都道府県の「緑の広域計画」及び市町村の 「緑の基本計画」の策定や内容の一層の充実の促進が求められています。

全体目標として「人と自然が共生し、環境への負荷が小さく、Well-beingが実感できる緑豊かな都市」、個別目標として「環境への負荷が小さいカーボンニュートラル都市」、「人と自然が共生するネイチャーポジティブを実現した都市」、「Well-beingが実感できる緑豊かな都市」を掲げ、3つの都市の実現に向けた取組及び関連する指標等を位置づけることが促されました。

(2) 国・東京都等の各種制度の動向

【国の動向】

- 「グリーンインフラ実践ガイド」、「グリーンインフラ推進戦略 2023」(令和5年)、「緑の基本計画× グリーンインフラガイドライン(案)」(令和6年)が策定され、さらなるグリーンインフラの普及・拡大を推進
- 「生物多様性国家戦略 2023-2030」(令和 5 年) が策定され、2030 年のネイチャーポジティブ の実現を目指す取組を推進
- 脱炭素社会の実現に向けた取組が加速しており、国は2035年度60%削減、2040年度73% 削減の新たな「日本のNDC(国が決定する貢献)」を、令和7年2月に国連気候変動枠組条約 事務局へ提出

【東京都の動向】

- 令和2年7月に「緑確保の総合的な方針」、「都市計画公園・緑地の整備方針」を改正
- 令和2年3月、都市における生産緑地、樹林地等の保全や新たな緑の創出などにより、緑を 一層豊かにし、ゆとりと潤いのある東京の実現に資する事業に要する資金に充てるため、区 市町村による緑の保全・創出の取組等の支援に活用できる「緑あふれる東京基金」を設置
- 「『未来の東京』戦略」(令和3年3月)において、「戦略13水と緑溢れる東京戦略」の実現に向け、積極的に緑の保全・創出に取り組む区市町村を支援するために「東京の緑の保全・創出支援プログラム」を作成
- 100年先を見据えた緑のプロジェクト「東京グリーンビズ」を推進(令和5年3月)
- 「2050 年東京戦略」(令和7年3月策定)の「19 緑と水」にて、「豊かな緑と水が織りなす潤いと安らぎの都市 東京へ」というビジョンを掲げ、東京グリーンビズを強力に推進
- 「ゼロエミッション東京戦略 Beyond カーボンハーフ」を令和7年3月に策定し、2035年までに温室効果ガス排出量を60%以上削減(2000年比)する新たな目標と、その達成に向けた31の個別目標を設定し、実効性ある施策を推進

【小金井市の動向】

- 令和4年1月「小金井市気候非常事態宣言」を表明し、「2050年ゼロカーボンシティ」に向けた取組を推進
- 小金井市都市計画マスタープランを令和4年8月に改定

小金井市都市計画マスタープラン 令和4年8月

「基本目標3 次世代に誇れる自然と都市が調和したまち」の中で、「みどり・水・環境共生の方針では、地域固有の資源である豊かなみどり・水をいかしたネットワークの形成、みどりの保全・創出、風景・景観の保全と形成、循環型社会の推進及び脱炭素化に向けた取組など、次世代に誇れる自然と都市が調和した持続可能なまちを目指します。」としています。



(3) 社会情勢の変化

● 気候変動対策

温室効果ガスの排出増大等による地球温暖化の進行は、豪雨等による自然災害の発生、海面の上昇、生態系の攪乱等により、都市生活、経済活動、農林水産業等に深刻な影響をもたらしており、温室効果ガスの排出削減、吸収源対策が喫緊の課題となっています。日本は、2050年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロにする「カーボンニュートラル」を目指し、取組を推進しています。

生物多様性の確保

都市の緑地は、動植物の生息地・生育地として地域固有の生態系を支える基盤であり、また、都市の住民がその生態系を学び、保全等に関わることのできる身近な場所です。2030年のネイチャーポジティブの実現に向けて、「生物多様性国家戦略 2023-2030」(令和5年)が策定され、良好な自然的環境を有する緑地の保全、再生が求められています。

● Well-beingの向上

都市の緑地は、都市生活における環境に起因する健康リスクの軽減に寄与すること、また、ストレスの緩和やリラックス効果、身体活動、住民の相互交流の促進、コミュニティの結束強化等を通じて Well-being を支え、促進し、精神的・身体的な健康の増進、認知・免疫機能の向上、死亡率の低下等にも寄与することが報告されています。

グリーンインフラの推進

グリーンインフラは、「社会資本整備や土地利用等のハード・ソフト両面において、自然環境が 有する多様な機能を活用し、持続可能で魅力ある国土・都市・地域づくりを進める取組」と定義 され、その推進により様々な社会課題の解決に向けた普及・拡大が求められています。

【課題】

- ・ 緑の基本方針において、緑地の保全及び緑化の推進の意義として「生物多様性の確保」 や「Well-being の向上」、「気候変動対策」があげられ、「人と自然が共生するネイチャー ポジティブを実現した都市」、「Well-being が実感できる水と緑豊かな都市」、「環境へ の負荷が小さいカーボンニュートラル都市」を目指すことが必要
- ・ 地域固有の自然的環境や歴史・文化を学ぶことができる環境教育・生涯学習に関する内容の充実が必要
- ・ 国や東京都の動向や市の関連計画を踏まえ、グリーンインフラの普及・拡大や、まちづく りや地球温暖化対策としてのみどりの機能を一層活用することが必要

4. 中間見直しの内容

4-1 小金井市みどりの基本計画

小金井市みどりの基本計画における見直し箇所を以下に示します。新たなガイドラインの作成 に伴い、見直しを行いました。

小金井市みどりの基本計画(都市公園等の整備及び管理の方針)見直し(案)

新たなガイドライン策定に伴い、赤字下線部分を追記し、計画の一部を見直す。

4 都市公園等の整備及び管理の方針

都市公園等は、環境保全、レクリエーション、防災、都市景観及び生物多様性の確保など、みどりの有する多様な機能を効果的に発揮させる上で、重要な役割を担います。

本市では都市化が進展しており、市街地の中の貴重なオープンスペースとしての公 園等が担う役割は非常に重要となっています。

この点を踏まえて、本市における都市公園等の整備及び管理の方針は、小金井市公園等整備基本方針(平成31年3月)、小金井市立公園等の世本管理カイドライン及 ひ小金井市インクルーシブデザインに配慮した公園と用カイドラインを基本とし、整 備の優先度の高い都市公園等の魅力向上及び安全確保を進めます。

都市公園等の整備の方針

【新規公園の整備】

- 「都市計画公園・緑地の整備方針」(令和2年7月)に基づく公園等の整備や、土地区画整理事業における公園等の整備を進めます。
- ・また、これ以外の公園等については、市全体と地域ごとの将来の人口・構成分布 を考慮し、市が管理する公園等のみならず、都立公園、民間が管理する公園、隣 接市の公園、大学及び寺社などのオープンスペースを含め、安全性、利便性、地 域性、地形などの環境条件を勘案して配置します。
- ・新規に整備する公園等については、本市ではグリーンインフラの促進の観点から、 地下水涵養の促進³²、地域コミュニティ形成などの機能向上に向けた整備を行い、 合わせて公園等の周辺地域又は公共施設の緑化を進めることでみどりの多機能 性を効果的に発揮できるよう取り組みます。

【集約化・再配置への対応】

・今後の高齢化や人口減少に伴う予算規模の縮減を想定し、効率的な整備をするため、活用が図られていない公園等の土地利用転換などをしつつ、既存公園等の魅力向上を図ります。

50

³² 地下水崩積の促進→試成野台地上に降った雨が崖下で湧水として湧出し、野川等の水辺を形成している。 この点も踏まえ本市では、住宅地からの雨水の地下水溶管促進のため、雨水施設の設置のための周知啓発や 設置助成に取組んでいる。

都市公園等の管理の方針

【公園施設の設置・管理】

- ・既存公園等のトイレ、ベンチ及び水道などの公園施設については、誘致園33の重複状況、利用者数及び利用者ニーズなどを考慮し、設置、修繕又は撤去などを慎重に検討します。
- ・一般遊具や複合遊具、健康遊具などの遊具は、遊具定期点検などの結果により、 安全基準を満たさない遊具について優先的に整備・改修を行い、総量を維持しま す。なお、誘致圏の重複状況、利用者数及び利用者ニーズなどを考慮し、撤去に ついても検討します。また、遊具を新たに設置する場合は、外部から見通しが良 く、死角を排除するように設置します。
- ・市民が日常的な健康づくりの場や子育ての場として快適に利用できるよう、感染 症対策などの利用マナーの啓発を図ります。公園利用者の安全確保のため、都市 公園等にはブライバシーの保護に留意しながら、防犯カメラの設置を検討します。
- ・小舎井市インクルーシブデザインに配慮した公園活用カイドラインに基づき、多様な利用者を想定し、地域性を踏まえながら、障がいのある子もない子もみんなで遊べるインクルーシブ遊具の導入を検討します。

【安全の確保と縁の軸の形成のための植栽管理】

- 小金井市立公園等の樹木管理ガイドラインに基づき、公園等の植栽については、 安全確保のため、老木や倒木の危険のある樹木は植え替えなどによる新陳代謝を 図ります。
- ・市域を東西、南北につなぐみどりの軸を形成するため、みどりの軸の周辺の公園 等については、生物多様性の確保や生態系ネットワーク形成を考慮して、植栽管 理を図ります。

【多様な管理方法の導入検討】

- ・地域のコミュニティ形成や活躍の場づくりなどにより公園等の安全の確保、魅力 向上を進めるために、地域住民や市民が安全に利用できる公園ルールの検討や、 ボランティアが活躍できる管理方法を検討します。
- ・公園等に新たなにぎわいの創出を図るため、指定管理者制度の導入や、公募設置 管理制度(Park-PFI制度)などの導入について検討します。

関連:基本方針2(1)魅力ある公園をつくる

3.3 誘致圏▶公園の主たる利用者が居住する範囲のこと。

51

3 計画の期間・計画のフレーム

本計画の期間は、上位計画である第5次小金井市基本構想の計画期間を踏まえ、令 和3年度から令和12年度までの10年間を計画期間とします。

ただし、計画の進捗状況や本市を取り巻く環境・社会状況の変化に合わせて、取組 内容や指標などについて、必要に応じて見直しを行います。

計画のフレーム

- ■計画対象区域: 市全域を計画対象区域とします。(1,130ha): 全域が市街化区域35
- ■人口:人口は今後も増加する傾向にありますが、10年以内には減少に転じます。

年	令和2年(2020年)	令和12年(2030年)
人口	119,321 人*1	118,953 人*2

- *1 住民基本台帳人口(日本人のみ)外国人を含む人口は122,306人
- *2 小金井市人口ビジョン(平成28年3月)パターンで: 第4次基本構態・後期基本計画における人口推計より

4 計画の位置付け

みどりの基本計画は、上位計画である「第5次小金井市基本構想・前期基本計画」 や「小金井市都市計画マスタープラン」、「第3次小金井市環境基本計画」や「小金井 市人口ビジョン・小金井市まち・ひと・しごと創生総合戦略」などの関連計画と調和・ 連携を図り、広域的な視点とし、関係法令、国の施策及び東京都の関連計画を踏まえ



35 市街化区域▶無秩序な市街化を防止し、計画的な市街化を図るため、「都市計画法」により指定された区域区分のことを言う。市街地として積極的に開発・整備する区域で、すでに市街地を形成している区域、及びおおむね10年以内に優先的かつ計画的に市街化を図るべき区域を指定する。

-

小金井市スポーツ推進計画

小金井市子ども・子育て支援事業計画

小金井市公井旅员等総合管理計画

4-2 小金井市みどりの基本計画の実施計画

具体的な取組事業の内容を見直しました。計画後期においては計画の目標達成に向け、さらに 取組を強化し、計画を推進します。

基本方針1 みどりを守る

- 保全緑地制度の認知度向上のため、ホームページ、広報、イベントでの普及啓発を実施します。
- ・ イベントの開催時においては、生物多様性に関する周知を行います。
- 地域固有の生態系を支える基盤である緑地の保全、再生を行います。
- <u>崖線斜面及び周辺部のみどりの保全などの活動をする市民団体やボランティアと連携</u>して、維持管理・保全を行います。
- 環境緑地に指定した屋敷林や社寺林を、市民団体やボランティアと連携して維持管理・保全します。
- 市民や事業者などに<u>保全緑地制度の紹介を実施</u>するなど、さらなる制度の周知・活用を促進します。
- 保全緑地制度について、維持管理の難しさも解除の理由になっていることから、現在の<u>補助制</u>度の在り方を再検討します。
- 「都市農地の貸借の円滑化に関する法律」の施行により、意欲ある農業者や新規就業者、また、 市民農園を開設したいと考える民間企業等が生産緑地を借りやすくなったことから、<u>営農困難</u> な生産緑地の貸借を推進し、農地の活用を図ります。

基本方針 2 みどりをつくる

- <u>インクルーシブデザインに配慮した公園施設の活用</u>及び<u>公園を拠点とした障がい者等の理解を</u> 深める取組を実施します。
- 小金井市立公園の設計及び維持管理基準、小金井市立公園等の樹木管理ガイドラインに基づく 適正な樹木管理を進めるため、危険樹木等の更新をします。
- 新しい生活様式に心がけて、<u>心身の健康維持し、地域コミュニティの形成を図り、人々が集う場</u>として公園を活用します。
- 保全緑地制度の質を含めた指定要件の見直しや、奨励金以外の<u>維持管理に係る助成措置を検</u> <u>討</u>します。
- みどりの軸に隣接する公共施設の緑化を推進します。

基本方針3 みんなで取り組む

- 大学などの地域の多様な人材を活用して、将来のみどりの担い手となる小中学生や子育て世代を対象とした、みどり、歴史・文化に関するイベントを開催するなど、環境学習を充実します。
- みどりに関する情報発信を充実し、イベント等での周知など多様な情報提供手段で広く周知します。東京都の「東京グリーンビズマップ」等、都と連携したみどりの情報提供を行います。
- 子育て世代や小中学生が気軽に参加できるようなイベント等を実施し、参加型のボランティアの 実施・周知により新たなボランティア活動参加者を確保します。

to

小金井市みどりの基本計画実施計画の見直し(案)

[直 し投拠とした関連資料] ハーア・プロア・「実施計画」) 小金井市みどりの基本計画実施計画(以下、「実施計画」) :令和5年度みどり率調査結果(以下、「みどり率」) :小金井市の環境・みどりに関する市民アンケート調査結果(透報値)(以下、「アンケート」) :小金井市みどりの基本計画の目標値の実績(以下、「目標値」) :徐化施策に係る画・東京等の方針や名種制度の動向(以下、「国・都の動向」) :外金井市みどりの基本計画(都市公園等の整備及び管理の方針)見直し(案)(以下、「公園方針」) :小金井市みどりの基本計画(都市公園等の整備及び管理の方針)見直し(案)(以下、「公園方針」)

「見直し後の取組(取組事業名・事業内容)」の太字部分を追記変更していま 令和7年度第2回小金井市緑地保全対策審議会の意見反映後/見直し案担当課確認後 下表のうち

		R全地域などの び周辺部のみど ですする事業者 を働きかける。 5. 市場、ホーム 高します。	に努めるととも ント等を開催し 普及啓発を行	管理基準」に則 在来種から選定 なる樹木を植樹 能となる植物管	eなどの活動を 、て、維持管理・	*林老、市民団 - 保全をする。	たに、等業者・ 民や等等者など なる健康の問	年冬見直す。 時段論書 名為	森地の所有者 の事前の情報 2を伺い核討予
見直し後の取組 (担当課へ各課照会し決定)	取組事業内容	係全線地制度、国分等能線器地版全地域などの 各籍制度の利用に対し路域の加速の加速の 12を指導度の研究を対して対して対して対して 12を用ましたが、上地がする事業を 中市民に関いの第十ペンパーの企会を削さり行る 会議地制度の限別度向上の定め、所報、ホーム インパースの音及響発を実施します。	適須果園を適切に維持管理・保全に努めるとととも に、市民に親しまする線地としてイベント等を開催し 緑地の保全、 生物多様性 に関する普及路発を行 つ。	「小金井市立公園の設計及び維持管理基準」[印 り、公園内に新たに権材予器には在来種から選択 し、生物多様性の確保の形でがあ、美のなる結准を組織 や、地域国有の生業系を支える基盤になる機製管 理を行う。	崖線斜面及び周辺部のみどりの保全などの活動を する市民団体やポランティアと連携して、維持管理 保全する。	議域職地に指定した国際体や社争体を、市民団 体やポランティアと連携して維持管理・仮全をする	係全線地制度の情報発信を行うとともに、事業者・ 市民へ指定の記。 等た、市民や等等者など、 に創度の紹小等機等すると、さらなる制度の周 知・西用を促進する。	保全総治制度の 實を含めた 指定要件を見值す。 2、実際を以外の債務者 難に 係る助成者置を的 對する。	特定生產聯地の指定を迎送各生產聯地の所有者 正如上,其工業等無關係[[[[]]] 以 無知範の職等的指之[[]] ((,) 等的结果的指定之[[]] (())
判)	取組事業名	保全線地制度などの活 用による保全	漁浪泉圏でのイベント実施	国分寺崖線に隣接する 公園等の維持管理	市民協働による活動支援	市民協働による環境線 地の維持管理	保全線地制度の周知	保全縁地制度の要件の 見直 こ	特定生產標地地区の指 定の推進(新規).
見直しの方向性		保全線地制度の普及啓発についての取組の追記	生物多様性の普及啓郷についての歌組の追記	地域固有の生態系を支える基盤である繰地の保全、再生について 追記	こはまで活動いたにいていた市民団体の活動体上により、連携ができていないないなななもの、新たる市民伝動による産業終画及とり周辺部の保全を破損する。	近隣の小中学生の参加の推進は剛隊を検討	市から保全線地の所有者へ直接的に制度を紹介することを検討	保全線地の質を含めた要件の見直しや助成以外の維持管理補助 などは可能が検討	特定生產編地の指定により、當職を維持を支援し、生産保地地区 の減少を抑制する。
見直し背景		●市民に制度が認知されてわらず、指定されていない樹木や生け担 などは多いと思うがる。環境フォーラムなどで保全線地制度の周和を 強化する必要がある。	●ネイチャーポジティブ(生物多様性の損失を止めて回復させること)、 30by30(2030年までに配子海の30%以上を確全ち生態系として効率 的に保全しようとする目標)の認知度は低かった。	●国の様の基本方針において、繰地の保全及び縁化の推進の意義として「生物多様性の確保」があげられ、「人と自然が共生するよう・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	●取組状況、評価、実施効果がC評価、活動を休止したため協議に は至らなかった。	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	●市の軽極的な働きかけにより、保存機木の指定の本数を増やすことは可能であると考えられる。	 ●保全線地側度の排定要件離和を実施し、間に合りせが端え前規 指定の増加などの成果がある一方で、維持管理が困難となり、保存 様木、生け垣の解除な増えるともに質の低下がみっぱる。 一条矢率体制度のアンケートでの認 知度はおりまであった。 ●保存機本の適高を受け制度のアンケートでの認 の保存機本の適高と管理が図られていない樹木についての間に合わ せた増加傾向にある。 	特定生產線地の排定を見据えた、取り組みが必要である。
見直し	田 田	審 類 就 可	イーヤンケート	国・橋の島向 アンケート	東施計画	実施計画	審議等	実施計画 特置 日標値 アンケート 第	華田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田
	担当係	線と公園係	縁と公園係	繰と公園係	緑と公園係	繰と公園係	繰と公園係	繰と公園係	線に公園係
· **	祖宗離		環境改策 課	磁	環境改策 課境政策	環境改策 課 課	顯 類 類 類 類 類 類 類 類 類 類 類 類 類 類 類 類 が	譺	操 禁 等 等 等
該当する取組(具体的な事業等)	取組事業内容	環境保全線地(環境線池・公共線 上、国子体機能が保护・ との各種制度の活用に力圧線を固立 との名種制度の活用に力圧線を固立 保が5点が、上地を相する事業等や 市民に数地の線化やみどりの保全を 動き打げる。	適切に維持管理・保全に努めるととと に、市民に親しまれる線地としてイ ペント等を開催し線地の保全に関する者 及警察を行う。	「小金井市立公園の設計及び維持 管理基準」に削り、公園内に新たし 植材する際には在来種から選定し、 生物多様性の確保のため、実のなる 樹木を植樹している。	崖線斜面及び周辺部のみどりの保 全などの活動をする市民団体と連携 して、維持管理・保全する。	環境締地に指定した屋敷林や社寺 林を、市民団体やボランディアと連携 して精神管理・保全をする。また、ボ ランディアボントの取得できる事業と して位置付けることで、近隣の小中 学生の参加を推進する。	保全線地(環境線地・公共線地・保存機地・保存機・保存性)型(関係の情報発信を行うたとして、等業者・市民へ指定の保護を図る。	保全標地(環境線地・公共線地・保存地下、保存生行道)制度の指定線件を緩和するなど、要件を見置す。	I
T T T T T T T T T T T T T T T T T T T	取組事業名	保全線地制度などの活 用による保全	漁浪泉圏でのイベント東 施	国分寺崖線に隣接する公園等の維持管理	市民団体の活動支援	5民協働による環境検 bの維持管理	 保全緑地制度の周知	保全線地制度の要件の 見直し	I
華	主な取組	1.保全線地制度などの各種 制度を活用し、連線斜面及 び周辺前のみと7を保全しま す。	2 特別線地保全地区に指 定されている漁浪泉圏では、 市民がみどの大切を登職解 するきかけとなるようバント 前 開催などを適じて周知に努め ます。	4 国分寺崖線に隣接する公 国等において、生物多様性 E に配慮した維持管理をしま 4 す。	5 市民団体の活動の支援を 行うとともに、事業者及び市 に 民と協力して国分寺崖線の みどりを保全します。	1.所有者の維持管理の負担 軽減の7.85、環境禁制に指 にた歴験がや社事体の下 第1別の等等実満に 期に などを行うポランティアを紹介 します。	2.土地所有者の方が保全線 ・機関度を指しいずいよう、 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	3 ★保金線地側度を活用し で表ではいように、環境線地の指 で最低面積の3 を 下げな ど、要件の製画しを検討します。	1.需業者が進業を維持する ための支援して、新規総議 者がとの対象をして、新規総議 者がとのが、 とい手がとの情報が し、手下をの構築、被固議 の手が、 会の制度、 会の制度、 を 対する補助施業などを実施 します。
みどりの基本計画の記載	具体的 な取組	①崖線斜面及び 周辺部のみどりを 保全線地制度な とで守る	①崖線斜面及び 周辺部のみど)を 保全線地制度な どで守る	②野川の自然環境を関係者ととも に守る	①崖線斜面及び 周辺部のみどりを 保全縁地制度な どで守る	①保全線地制度 などの活用により 守る★	①保全線地制度 ななどの活用により サマる★	①保金線地制度 などの活用により 守る★	①営農支援により農地を守る
みどりの:	量低					*	*	*	
	五 万 新	(1)国分寺 庫線・野川 のみどりを守 る	(1)国分寺 建線・野川 守 のみどりを守る	(1)国分寺 崖線・野川 のみとりを守 る	(1)国分寺 崖線・野川 のみどりを守 る	(2)民有地 のみどりを守 る	(2)民有地 のみどりを守 る	(2) 民有地 のみどりを中 る	(3) 機地を 中る
	NO 基本 企	1. みど 0. 0. 8本 1. 0. 8本	1. みど 2 りを守 る	1. みど 4 りを守 る	1. みど 5 りを守 8	1. みど (2 6 りを守 の 8	1. みど 7. りを守 8	1. みど 8 りを中 8	+みど 事 の の

電認後 [資料2]	更しています		月直し後の取組 課へ各課照会し決定)	取組事業内容	「新市島地の貨幣の円帯でに関する法律の施行 に対り、電影の高・電池や施設課業と、は、市 画家で開びたいような同窓等がでは、 ではつかったのかと、電影回路を集めた。 資金を指摘し、電影回路は上間等も 資金を指摘し、最高回路は上間等も	インリー・ジブデゲインに配置した公園施設の活用 により、公園を発展した単行に当等の選挙を深め る政組を実施する。	小金井市立公園の設計及び維持管理基準、 小金井市立公園の設計及び維持管理基準、小金井市立会園等の第六管理ガイドライン に基ぐ道正な樹木管理を進かるため、危険な樹木等の更新をします。	新しい生活様式にひがけて、単山公園のピオトープ、親野公園・三葉公園の楽園が用したり地域。 ここティの粉件を開る。心身の簡単維持し、人々 が着う場として公園を活用する。	生け理遊成後に、祭存生け類に係る侵垒衛地側 整がも石上を開知する。イベント等での樹木の維制 配布を行う。おた、保存生け強制度についても、観 度の質を含かと展件の質量や発動を以外の維 神管理に係る助成権置を検討する。	みどりの軸 に隣接する公共施設の線化を推進する。	大学などの地域の多様な人材を活用して、将来の みどの担い手とあるい中学生や子育で世代を対象 とどの担い手となるい中学生や子育で世代を対象 してし、みどの、関連・文化に関係するべいと解析性 るなど、規模学習を光楽する。学化、ケント開催に 当たってSNS等を形実する。学化、ケント開催に 当たってSNS等を搭用する等、構成い原格を行	みど3の基本計画、みど3の実際調査、ガーデング や縁化の事例、支援制度、ボランティア活動等、みど りに関する権勢発展を発展し、イベント等での開始的 ど多様も推模提供手段で広代周知する。	みどの急末計画、みどの実態調楽、ガーデング 中様化の事例、実施順度、ポシティア語動等。か に関係を情報を指定策楽し、ベント・等での職列 同など多様な情報等手製では、信頼対象、第「集」 の「重集ガリーンだスマップ」等、着た連携したみどり の情報後後を行う。	高齢化にどり活動が困難になる環境条化サポーター サポーター同様があるよどか。子育で世代やい中学 生が気候で参加できるようなイント等を実施し、参 加盟のポンティアの影響、周如により 新たもポラン テイプ活動学加音を経版する。
、案担当課確	2・事業内容)」の太字部分を追記変]		無解)	取組事業名	智藤田龍な都市農地 の資権を推進(新規) 権	小全井みんなの公置ブ ロジエフド play here」 (新規)	公園樹木の適正な維持 メ 管理 キャラ	公園での体験活動によった る地域コミュニティ形成 ル	生/垣遠庇奨励金制 度·保全緣地制度の要 層件等の見直し	みどりの軸の緑化推進	環境学習の充実とある	また。 みどりに関する情報発信 な	み か か か り り り り り り り り り り り り り り り り	画 多様なボランティア人材 サ の確保
回小金井市緑地保全対策審議会の意見反映後/見直し			見直しの方向性		民間企業等への生産締地の貸し出しなどの情報提供の強化を検 対 (環境基本計画 環境保全実施計画に掲載事業)	インカレーンプデザインに配慮した公園整備を契機とした公園の活用 及び降がい者等の理解の促進	維持管理基準、樹木管理ガイドラインに基づき、樹木の更新を図 5。	Well-beingを実感できる。公園でのイベント開催など人々が集う場所としての活用を促進	保全線地の資を含めた要件の見直しや助成以外の維持管理補助 などの終計	本央線沿線に限定せず、みどりの軸に隣接する公共施設の線化の 推進	みどひと歴史・文化を融合したイベント	権報提供の拡充、イベント等での原知強化	情報提供の拡充、イベント等での周知強化	登録型のボランティアだけでなく。参加型のイベントでのボランティアの実施・周知
	「見直し後の取組(取組事業名		温直で連絡		金生産株地地区面積は減少傾向であり、目標である「減少量を抑制の速成のため。●環境基本計画における取組の整合を図る。●カビリ率における機用地が減少している。	●魅力ある公園づびたして、小金井み小なの公園プロジュワト「pluy hore (子そもの遊び皆等寒霧解事業)を計画に位置づける。 ●縁の基本方針において、縁地の保全及び緑化の推進の意義として 「Well-bengの向上」があげられ、「Well-bengが発生の意義として から都市に置すが全数がある。 ●都市公園等の影響、ひ管理の方針の見直し(小金井市インフ ルーンフラザインに配慮した公園店用ガイドライン)	●都市公園等の整備及び管理の方針の見直し(小金井市立公園等の樹木管理ガイドライン)	●国の緑の基本方針において、緑地の保全及び緑化の推進の意識 とて「Wei-bengの当上がありがられ、Wei-bengが実際できる水と 緑豊かな都市 任息 指す必要がある。 ●人々が集い、コミュニデモを形成する場所としての公国の役割が求め うれている。 ●イントの参加のしやすさ」の満足度は低い結果とおった。	●保全線地制度の指定要枠緩和を表施し、間い合わせが増え前規 特定の増加などの原果がある。方で、維持管理が開催とむ、保存 樹木・生1項の解除も据えるともに第の框下がかられる。 ●保全線地制度、生け直造成奨励金文付制度のアントでの認 知度は約43階であた。 ●保存構水の適応を管理が図られている供表についての間い合わ せた増加傾向にある。	●取組状況、評価、実施効果がC評価、公的施設の新たな縁化に至っていない。 至っていない。 ●中央線沿線に新たに縁化する施設がない。	●緑の基本方針において、地域固有の自然的環境や歴史・文化を サップにかできる環境教育・生選学習に関する内容の光実が求められ でいる。 ●「イベントの参加のしやすさ」の満足度は低い結果となった。	◆さまざまな情報提供手段を使い近く情報を届ける必要がある。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	●2まざまな情報提供手段を使い広く情報を届ける必要がある。 ●みどり記録されからの情報を信の満足度は低い結果となった。 何イベントの参加のしやすさの第2度は低い結果となった。 ●みどりの質の満足度が低かった。	● まちなかの様化活動」は「今後機套がおれば参加したい」の回答 が発展であった。● ボランティア活動の参加のしやすさ」の満足度は低い結果とちった。
	のうち		見画して	田 財	目標値 国・都の動向 みどり率	国·都の動向 公園方針	実施計画公園方針。	国・部の場向	実施計画 相標値 アンケート	実施計画	国・都の 動向 アンケート	1	アンケート	アンケート
17年				担当係	産業振興 係	緑と公園係	緑と公園係	線と公園係	緑と公園係	緑と公園係	猫 境	縁と公園係	繰と公園係	線と公園係
令	下、		(to the	相当課	経済課	環境政策課	環境政策課	環境政策課	環境政策課	環境政策 課	環境政策課	爆塊改業 課	環境改策 課	環境改策 課
	7	[し(案)(以下、「公園方針」)	該当する取組(具体的な事業等)	取組事業內容	I	I	小金井市立公園の設計及7維持曾 理基準に基づく適正な樹木管理を 実施する。	国土交通省の通達に基づき、公園利用者にコロナ禍の利用について注意喚起を図る。	り活用しやすい制度とするため、要 半の是直しを行い、制度の周知を行 。	中央線沿線に隣接する公的施設の 線化を推進していく。	大学などの地域の多様な人材を活 用して、将来のみどの値いまっなる。 ハル学生や子育で世代を対象とし、 た。みどのに関うがベンドを開催する なし、環境学習を充実する。	サビりの基本計画・サビリの実際調査・ガーテニングや漆化の事例・支援制度・ボンティンチが影響・サビリアは関連・ボンティンボ影響・サビリに関する情報発信を対策する。	みどりの基本計画、みどりの実態調 高、カーデンジンが終化の専例、支 援制度、ポンシイア活動等、みどり に関する情報発信を充実する。	高齢化により活動が困難になるボランティア団体があることから、子育で世代やい中学生が気軽に参加できるようなイベンド等を実施し、新たなボラティア活動参加者を確保する。
見直し(案)	- : : : : : : : : : : : : : : : :	管理の方針) 見直 		取組事業名	I	I	公園施設の適正な維持 管理	, 新型コロナウイルス感染 拡大防止のための公園 利用	生け垣造成奨励金交付 。 制度・保存生け垣の指 (定要件の見直し	中央線沿線の緑化推進	環境学習の充実	みどりに関する情報発信	みどりに関する情報発信	多様なボランティア人材 の確保
·市みどりの基本計画実施計画の見直(・根拠とした関連資料) ・仏会#市みどの基本計画実施計画(以下、「実施計画)	:令和5年度みどり率調査結果(以下、「みどり率」) :小金井市の環境・みどりに関する市民アンケート調査結果(速報値)(以下、「アンケ :小金井市みどりの基本計画の目標値の実績(以下、「目標値」) :綠化施策に係る国・東京都等の方針や各種制度の動向(以下、「国・都の動向」)	:小金井市みどりの基本計画(都市公園等の整備及び管理の方針)見直し(案)(以 	準	主な取組	3.都市農業への理解や土に 触れる機会を得る場として 引き続き市民農園や体験型 市民農園の整備を推進して いきます。	2.新たち都市公園等の整備 を行う際には、市民が計画の 検討及び管理に参加できる 手法を取り入れます。	6 安全確保及び適正右樹木 の維持管理を図るため、公 園等の出来について、中街 米を主とした植栽を進め、樹 種転換及び巨木化・老木化。 国新を実施し、適正右樹木の 可割布を表施し、道正古樹木 配置を図ります。	7.新型コロナウイルスなどの意 発症拡大防止のため、密 集・密接を避ける公園管理 を行います。	2★生け垣造成奨励金制 度及び保存生け垣適の適用が 象の拡大により、より活用し やすい制度とします。さらに総 化指導時に制度の周知を行 し、指定を進めます。	6 鉄道沿線などの身近な交 通軸周辺の公共施設での縁 化に取り組みます。	「★将来のみど7の担い手と なる小中型生や手骨で世代 を対象といた。みど7に関する イベントを開催するなと、環 境学習を充実します。 イベト財権に当たっては、 イベト財権に当たっては、 イベト財権に当たっては、 イベト財権に当たっては、 イベト財権に当たっては、 の多様な人材を活用すること を検討します。	2.★少ど3の実際調査結果 やみど3の基本計画などを子 どもものを非限に分かりや すく紹介します。	★みどりの実態調査結果や みどりの基本計画、市のみど りの実態の目に、続化の制 度、ポランティア活動などの制 とりに関する情報を市の丘像 やホームページを用いて発	5_若い世代のポランティア登 録を促進します。
基本計画 資料]	り率調査結果 竟・みどりに関す の基本計画の」 は、国・東京都等	の基本計画(者	みどりの基本計画の記載	具体的な取組	②活用して農地 を守る	①新たな公園を 整備する	③公園機能を充 実・更新する	③公園機能を充 実・更新する	①住宅のみどりを 増やす ★	②市街地や商業 施設、事業所の みどりを増やす★	②みどりと親しむ 機会を増やす	⊕みどりに関する 情報を発信・共 有する★	①みどりに関する 情報を発信・共 有する★	②ボランティア活 動に取り組む★
どりの 上間連 市みどり	年度みと 市の環境 市みどり 策に係る	市みどり	みどりの	重点	4vi ★	č Š	e Č	те <u>ү</u>	€ C +	*).),	*	*	*
小金井市みどりの基本 [見直し根拠と心関連資料] :小舎井市みどの基本書	命令令 (本) (本) (本) (本)	小金井		- 大 - 大 - 大 - 大 - 分 - 外	·ど (3)農地を F 中る	だ (1)魅力あ % る公園をつく る	(1)魅力 5公園を 5	ど(1)魅力あ いくる公園をつく る	ど (3)みどりの 3くまちなみをつ くる	ど (3)みどりの 3く まちなみをつ くる	で (1)みどりに で ついて知り、 網 親しむ	(1)みどりに の シンで知り、 郷しむ	で (1)みどりに で ついて知り、 網 親しむ	で (2)みどりに で 関する活動 組 に取り組む
(金) [E]				NO 基本 本強	1. みど 新1 りを守	2. みど 新2 りをつく る	23 5. ač 23 7&O <	24 ひをつく 2	2. みど 9をつく 3 5	2. みど 46 りをつく 3 る	3. み んなで 取り組 む	9. 3 6. 4446 6. 银知論 也	3. み んなで 取り組 む	3. み んなで 1 取り組 む
					the	19 11		1			<u>-</u>			-